

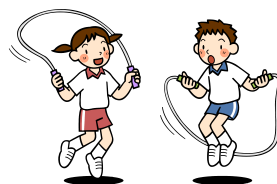


# 金楽寺

学校通信 第14号  
令和2年11月25日  
尼崎市立金楽寺小学校  
校長 中根 孝介

## みんなの笑顔輝く学校，社会

先週から、金小リズムジャンプが始まっています。運動を楽しみながら、体力を向上させていこうという取り組みです。朝の時間、各学年が決まった日に運動場に出て4分間、「忍たま乱太郎」の音楽に合わせてリズムよく、なわとびをします。20分休みにも音楽に合わせてなわとびを楽しんだり、体育委員が中心になって、なわとび検定にも取り組んだりしています。子どもたちの笑顔とがんばりが輝いています。



さて、12月4日から人権週間が始まります。これは、1948年（昭和23年）、国際連合で「世界人権宣言」が採択されたことに由来します。12月10日のことでした。この日を記念して、12月10日を『人権デー』としています。日本では、1949年から毎年12月4日から12月10日までを、「人権週間」として、みんなの「人権」を守っていくことを、呼びかけ、啓発する大切な1週間としています。

少し、「人権」について考えてみたいと思います。「人権」とは、一人ひとりが生まれた時から持っている「自分らしく生きる」権利のことです。先日の朝会では、「自分を大切にすること」「周りの人を大切にすること」「いのちを大切にすること」という三つのことをお話ししました。

### 「自分を大切にすること」

『自分を大切にする』といっても『自分自身をかわいがり甘やかす』ことではありません。『自分を大切にする』ということは、『自分自身をよりよくしていこう。』ということではないかと思います。たとえば、勉強では「少しでもわかるように」、スポーツでは「より強く」「より速く」、生活面では、「より優しく」「より健康に」「規則正しく生活できるように」「ルールやマナーを守れる人に」・・・というように、自分をよりよくしていき、自分の夢や願いをかなえるため、しっかりと考え判断できる力を育てていきたいと思います。

## 「周囲の人を大切にすること」

周囲の人とは、家族、親戚、友達、ご近所の方々、学校の先生などです。いくら自分のことが大切でも、周りの人はどうでもいいというわけではありません。自分を大切にすると同様に、周りの人の気持ちを考えて行動したり、周りの人を大切にしたりすることが大切です。周りの人のことを思いやり、気を配っていくからこそ、自分もさらにいかされ、成長していくものだと思います。



## 「命を大切にすること」

もうひとつ、「命を大切にすること」を忘れてはなりません。命は当然のことながら、ひとつしかありません。そのかけがえのない命（自分を含め周りの人の命）を大切にし、精一杯生きていくことが大切だと思います。そうすると、たくさんの喜びを味わうことができ、楽しい経験もいっぱいできるのではないかと思います。自分だけでなく、周りの人、命を大切にできる心を育てていきたいと思っています。

今年は、第 72 回目の人権週間になります。法務省では、17 の強調事項をあげ、「『誰か』のことじゃない。」をキャッチコピーとして啓発活動を展開します。

残念なことに、いじめや様々な差別、ネグレクト、児童虐待など、子どもに関する人権問題もあとを絶つことはありません。SNSを通じたトラブルや人権問題も増加傾向にあります。偏見や差別の根絶、よりよい社会、誰もがくらしやすい、やさしい社会を次の世代につなげていかなければなりません。それには、ひとりひとりの意識と行動が大切です。人権課題は、「誰かのことではありません」ひとりひとりが自分のこととして考えて行動し、みんなの笑顔が輝く社会にしていきたいものです。



金楽寺小学校でも、今月末までの間、友だちのよいところを見つけて掲示する「スマイルレター」の取り組みをします。みんなが、ひとりひとりみんな違うように、同じ人なんて誰もいません。ひとりひとりの違いを認めたり、自分や友だちの良いところを再発見したりすることで、それぞれが大切な存在であることを知る、大切な取り組みです。

みんなにっこい  
スマイルレター